

平成22年度 後期 南紀熊野サテライト大学院授業科目

授業科目名	地元学特論——あるもの探しのまちづくり		
単位数	2	授業形態	講義・フィールドワーク
担当教員	河音 琢郎・鈴木 裕範		
実施日・時間	10月3日(日) 13:00~17:00	(担当:鈴木)	
	10月30日(土) 【現地調査】	(担当:河音、鈴木)	
	10月31日(日) 【現地調査】	(担当:河音、鈴木)	
	11月27日(土) 【現地調査】	(担当:河音、鈴木)	
	11月28日(日) 【現地実習】	(担当:河音、鈴木)	
	12月11日(土) 13:00~17:00	(担当:鈴木)	

【講義内容】

地元学とは、地元の人(土の人)と外部の人(風の人)とが協働して、地域の「あるもの探し」を通じて、地域の良さを再発見し、それをつないでいって、地域づくりに役立てていこうという実践的な営みです。

この講義では、地元学の基本的な考え方や手法について学んだうえで、紀南地域(那智勝浦町)と泉州地域(岸和田市)との2度のフィールドワークで、「地域資源マップ」づくりという、地元学の基本的手法に実際にとりくむ中で、地域づくりの実践的な力量を身につけていくことをめざします。

・第1回(10月3日)

テキストを基に、地元学の基礎を学びます。同時に、第2回以降のフィールドワークと地域資源マップづくりの準備作業を行います。

・第2・3回(現地調査①) 那智勝浦町太田流域、第4・5回(現地調査②) 岸和田市

テーマごとに5~10人単位での班に分かれて、調査の方向性を確かめた後、地元の方と一緒に現場を歩いて回り、その調査結果を地域資源マップとしてまとめ、中間発表を行います。

現地調査は、岸和田サテライトと合同で実施します。

・第6回(12月11日)

那智勝浦町太田流域で実施したフィールドワーク、地域資源マップをもとに、それらを取りまとめ、最終発表とまとめを行います。

【テキスト・教材】

吉本哲郎『地元学をはじめよう』岩波ジュニア新書、2008年、ISBN:978-4-00-500609-0、780円+税

【事前学習】

テキストは、事前に読んだ上で、第1回目の授業に出席してください。

【注意事項】

第2回~第5回の現地調査にあたっては、以下の経費は自己負担となります。ご了解下さい。

- ・現地までの交通費
- ・宿泊する際の宿泊費
- ・フィールドワーク実施にあたっての保険加入料

また、フィールドワークにあたっては、1日目の授業終了後、地元の方に参加いただいていたの懇親会を予定しています。参加は任意ですが、ふるってご参加下さい。

現地調査にあたっての経費や詳細については、具体的に確定次第、サテライト・オフィスを通じてアナウンスする予定です。